

令和 6 年度 【自己チェック集計表】

萬徳寺保育園

【教育・保育目標】	【基本理念】
素直な子ども	仏教の「人を愛し慈しむ」慈悲の精神に則り、「真理を見極め、正しく生きる力」
たくましい子ども	知恵を培う保育を実践します。
規則を守る子ども	【教育保育の基本方針】
命をたいせつにする子ども	すべては子どもの最善の利益のためにやさしく・あたたかく・安らげる保育を行います。
希望に満ちた子ども	

【仏教保育三綱領】	【本年度の重点目標】
慈心不殺 生命尊重の保育を行う	① 子ども主体の保育の提供 ④ 地域における子育て支援の実施と情報提供
仏道成就 正しきを見てたえず進む保育を行う	② 保育環境への配慮 ⑤ 小学校との連携
正業精進 よき社会人をつくる保育を行う	③ 職員の資質の向上

【評価】 A:いる B:努力している C:いない

評価項目	7月			11月			2月			課題・改善点
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	
1.教育・保育の計画										
・園の基本理念・基本方針・目標・仏教保育三綱領を理解している。	43	4	0	46	1	0	46	1	0	・PDCAサイクルの計画・実践・評価まではしているが、改善できていない点もあるので、改善に努めていく。 ・指導計画を作成する際や保育の反省をする際に、基本理念やねらいを見直しながら行っていく。 ・仏教保育三綱領の理解を深めていきたい。
・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、理念・目標を踏まえた全体的な計画に沿って、長期・短期の指導計画を作成している。	40	6	1	40	6	1	43	4	0	
・乳幼児の発達や実態に即したねらいや内容を設定し、具体的な指導計画を作成している。また、3歳未満児は個別の計画を作成している。	39	7	1	40	7	0	45	2	0	
・PDCA(計画・実践・評価・改善)サイクルを用いて、質の向上・改善に努めている。	39	7	1	36	11	0	42	5	0	
2.保育内容										
・子どもに分かりやすい温かな言葉遣いで、穏やかに話すよう心がけている。	40	7	0	39	8	0	41	6	0	・月齢によって楽しめる遊びや活動があるので、他児と関わりながら楽しめるようにする。 ・一人ひとりの発達に合わせながら、見通しをもった関わりや配慮をしていく。 ・子どもの名前を呼ぶときに「ちゃん」「くん」で呼ぶように努めていく。 ・泣いていてうまく思いを伝えられなかったり、言葉で現すことが難しい子に対して、その子の立場になって気持ちを汲み取り、寄り添っていきたくと思う。 ・余裕を持ったり、何故制止するような声掛けになっているか、丁寧に伝えていくようにする。
・子どもの名前は、呼び捨てにせず「ちゃん」「くん」で呼んでいる。	38	9	0	35	12	0	36	11	0	
・「はやく」「ダメ」等、制止や禁止の言葉を不用意に使わないよう努めている。	25	22	0	25	22	0	30	17	0	
・子どもの目線に立ち、気持ちやおもいを大切にしながら対応している。	41	6	0	38	9	0	43	4	0	
・一人一人の発達の連続性や生活の連続性に考慮して生活リズムを整え、見通しをもった保育に努めている。	39	8	0	36	11	0	39	8	0	
・身近な自然や地域、社会と関わるような取り組みをしている。	31	16	0	25	22	0	31	16	0	
・子どもが意欲的に取り組める環境を用意したり、言葉かけをしている。	39	8	0	34	13	0	33	14	0	
・遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。 (例・社会的ルール・遊びのルール・当番活動・異年齢の交流など)	38	9	0	38	8	1	42	5	0	
・子ども一人一人や集団の育ちに目を向け、記録をもとに省察し、実践にいかしている。	36	11	0	32	14	1	36	11	0	
3.保健管理										
・日々の健康観察、毎月の身体測定、定期的な健康診断を行っている。	46	1	0	47	0	0	47	0	0	・体調不良が多い為、気をつけていく。 ・感染症など保健所と情報交換をし、感染予防をしていく。 ・避難訓練の際に役割分担を事前に行い、安全にスムーズに進められるように努めていく。 ・手洗いうがいを徹底し、体調管理を怠らなく行っていく。
・学校保健計画(学校保健計画・学校安全計画)を策定し、計画に基づいて生活安全指導・避難訓練・交通安全指導を実施している。	44	3	0	44	1	2	42	5	0	
・乳幼児の病気やケガ・疾病予防等の情報提供を行っている。	47	0	0	47	0	0	46	1	0	
・ストレスと身体の健康を適切に自己管理することができる。	37	10	0	32	15	0	29	17	1	
4.安全管理										
・事故予防・感染症予防・避難訓練・自然災害等に対応するための危機管理マニュアルがあり、訓練や園内研修を行っている。	45	2	0	45	2	0	47	0	0	・危険を想定したことを常に考えて行動していく。マニュアルを再確認していく。 ・安全管理をしっかりしていく。 ・訓練や園内研修を通して改善点の見直しなど、話し合っていく。 ・避難訓練後の反省や改善点を職員間で共有していく。
・安全点検(園内・保育室・遊具・ヒヤリハット)を実施し、職員会議を通して結果や改善点を話し合っている。	45	2	0	40	6	1	43	3	1	
・緊急連絡カードの作成・一斉配信メールの登録・関係機関との連携体制を表示にするなど緊急事態発生時への取り組みを行っている。	46	0	1	46	1	0	47	0	0	
5.食育										
・食育計画に基づき、子どもが落ち着いて食事を楽しめるような工夫をしている。	43	4	0	38	9	0	44	3	0	・楽しい雰囲気ですすめていく。 ・一人ひとりの発達に合った食事を提供する。 ・アレルギーのある子に十分配慮し、間違えないように気をつける。
・専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子の状況に応じ、適切な対応を行っている。	47	0	0	47	0	0	47	0	0	
・給食会議の中で意見を交換し合い、連携して食育活動に取り組んでいる。	39	7	1	33	12	2	37	8	2	
6.特別支援教育										
・特別支援教育担当者を決め、家庭・地域社会・関係機関との連携を図っている。	43	4	0	39	8	0	40	7	0	・特別な配慮が必要な子に対し、もう少しじっくりと時間をかけて関わると良かった。 ・適切に支援できるように関係機関と連携していく。 ・特に言葉かけに配慮し、保護者との連携を密にしていく。
・特別な配慮が必要な子どもの実態について把握し、他の教諭などと連携を図り、子どもや保護者に対して適切に対応している。	43	4	0	41	6	0	41	6	0	
・ケース会議のなかで問題意識の共有、連絡事項の確認を行っている。	43	2	0	40	7	0	41	6	0	
7.組織運営										
・常にコンプライアンス(法令、服務規定、ルール・モラル・倫理の順守)を意識して行動している。	47	0	0	45	2	0	45	2	0	・適正、適切に取り扱っているが、今後より一層管理強化に努めていく。 ・時々正しく申し送りができていないことがあるので気をつける。
・職務分担表を配布して各係の担当、職務の役割分担を明確化し、管理責任体制の整備をはかり、職員間における「報告・連絡・相談・確認」の連携をとっている。	46	0	1	44	3	0	45	2	0	
・協働体制の重要性を認識し、上司の指示・指導、同僚の意見や助言に耳を傾け、前向きに捉えて、学び続けることができる。また、決定事項・規則・手続き等を守るができる。	46	0	1	42	5	0	42	5	0	
・各種文書や個人情報(パソコン・USB含む)を適切に管理し守秘義務の厳守・情報の取扱方針を周知徹底している。	46	1	0	46	1	0	46	1	0	
・時間を厳守し、健康管理にも気を配り、職務に積極的に取り組むことができる。	44	3	0	38	9	0	42	5	0	

評価項目	7月			11月			2月			課題・改善点
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	
8.研修(資質向上への取組み)										
・キャリアアップその他の研修に参加できる勤務体制をつくり、適切な研修機会を確保している。	43	4	0	41	6	0	42	5	0	園内研修を通して園全体で保育のあり方を共有していく。
・保育研究に継続的に取り組み、研修・講習の内容は園内研修を通して還元している。	43	4	0	41	5	1	39	8	0	研修後にクラスで意見を出し合い、クラス運営をスムーズにできるように努めた。
・園内研修や自己評価を定期的に行い、資質向上に努めている。	44	3	0	43	4	0	43	4	0	
9.情報提供(園の取組みの理解)										
・園に関する様々な情報を、園だより・保育参観・行事等を通して伝えている。	45	1	1	45	2	0	44	3	0	どのような情報提供を行っているか知る。
・ホームページを活用し、広く周知するための工夫をしている。	42	4	1	39	7	1	41	6	0	提供する内容を充実させていく。
・園の外掲示板等で、地域の人にも情報を発信している。	42	4	1	40	7	0	42	5	0	
10.子育て支援(地域・社会との連携)										
・子どものおもいや保護者の悩み、要望などを誠実に受け止め、管理職や他の教諭などと連携を図りながら、問題の解決に向けた適切な支援を行っている。	41	6	0	40	7	0	41	6	0	子育て支援につながることを工夫して進めていく。
・子どもの様子や出来事を伝え合い保護者との相互理解を図っている。	44	3	0	43	4	0	44	3	0	保護者から相談などがあつた際には、寄り添ったり、気持ちを受け止めながら、会話するようにし、他の保育者とも共有し話し合っていく。
・中高生の保育体験・実習・ボランティアの受け入れに当たり、受入れの意義や方針を理解している。	44	2	1	44	3	0	45	2	0	
・認定こども園として子育て支援が必須であることを理解している。	47	0	0	47	0	0	47	0	0	
11.環境及び社会性										
・健康・安全かつ快適に生活できるよう、清潔感のある環境の維持に努めている。また、清掃活動など、すすんで行うよう心がけている。	47	0	0	45	2	0	43	4	0	保護者はいいつも笑顔を大切にしながら保育をし、社会人としてのマナーのある行動をとるようにする。 仕事をしたい気持ちはあるが、主体性保育での分からないところが多く、自分の保育に自信が持てなかった部分もあるので、もっと勉強していきたい。 絵本などが破れていたら、すぐに補修していく。 気づかずに見過ごしている事が多いので、点検し整えていく。
・絵本・教材・用具・用品を適切に活用し、点検整備している。	45	2	0	36	11	0	39	8	0	
・子どもが好きで、子どもとともに考え、子どもの気持ちを理解するよう努めている。	45	2	0	44	3	0	44	3	0	
・言葉遣いに気を付け、明るく笑顔と挨拶、礼儀などの社会人としてのマナーをもって行動するよう心がけている。	45	2	0	44	3	0	44	3	0	
・保育者は、人的環境であることを理解し(爪を短く切る・髪型・髪色・髪が顔にかからないよう結ぶなど)明るく活動的で清潔感のある身だしなみを心がけている。	44	3	0	41	6	0	43	4	0	
・仕事を楽しく姿勢を持ち、専門性を磨き、人間性を高める資質の向上に取り組む意欲を持っている。	42	5	0	35	12	0	40	7	0	
12.人権擁護										
・朝、母親に抱かれて、なかなか離れられない子どもに「ずっと抱っこしてもらっていると恥ずかしいよ」と言葉をかける。	47	0	0	46	1	0	46	1	0	引き続き、人権に配慮した関わりを心掛けていきたい。 まだ話ができない0歳児であっても、人権を尊重した言葉かけや関わりを大切にしていきたい。 行動に「女の子でしょ」「男の子でしょ」と行ってしまうので改めて気をつけていく。 並んで外へ行く際や整列をする際にいつまでも遊んでいたりふらふらしてしまつた子に対して、腕を掴んで誘導してしまう事があるので、言葉を先に掛け、子どもが自発的に行動することを待てるような余裕を持った関わりをしていきたい。 ニュアンスが違っても同様の意味合いをもつような言葉を使ってしまったことがあったので、相手に与える言葉の重みを考えるようにする。 トイレに行きたくなくなった際は、伝えてもらうよう声を掛けていく。 人権を尊重した言葉かけや関わりを大切にしていきたい。 「ちょっと待ってて」と待たせてしまつたときがあるので、あまり待たせずに応じてあげられるように心掛けていく。 心を動かせるような良い方法や言葉かけを考え実践していけるようにしたい。
・製作活動で子どもが描いた作品をみて、「そこ違ふよ。もう1枚描いてみる?」とだけ言って、描き直すように働きかけた。	47	0	0	46	1	0	46	1	0	
・「お母さん、お友達に負けると、お友達に知らせて、そのお友達を責める。素直な行動をするための言葉かけを聞かなくて、お友達に負けると、お友達を責める」と言葉をかける。	47	0	0	46	1	0	46	1	0	
・「ごはんをこぼした子どもに対して、床に落としたものを拾って食べるように促す。また、ほかの子どもが大勢いる前でそのことを指摘する。」	29	18	0	29	18	0	33	14	0	
・眠りに誘うとき、「トントン」するのが強すぎたり、揺らすのが大きすぎたりする。	47	0	0	47	0	0	47	0	0	
・子どもが、友だちをたたく等、良くないことをした際に、執拗に責めるような言葉がけをする。	47	0	0	46	1	0	46	1	0	
・子どもが保育者に話しかけた際、「いま忙しいから後にして」と言う。	44	3	0	44	3	0	44	3	0	
・子どもが保育者に話しかけた際、「いま忙しいから後にして」と言う。	44	3	0	41	6	0	43	4	0	
・子どもが保育者に話しかけた際、「いま忙しいから後にして」と言う。	37	10	0	34	13	0	33	14	0	
・給食のメニューをすべて配膳せず、食べたらずらに食べさせる。	46	1	0	46	1	0	46	1	0	
・お迎えに来た保護者に「A君は、今日はケンカをしてお友だちを泣かせてしまいました」と、他の保護者に聞こえるように言う。	47	0	0	47	0	0	47	0	0	
・子ども同士の問題が起きたとき、子どもたちの言い分を聞かず、一方的に判断を下す。	47	0	0	46	1	0	46	1	0	
・自分から訴えてトイレに行くことができるようになった子どもに対して、「おしっこ出ない」と訴えていても、トイレに行くように促す。また、出ないと言う子をいつまでも	43	4	0	44	3	0	44	3	0	
・子どもの人数チェックをする際、子どもの頭を手ではたくように人数を数える。	47	0	0	46	1	0	47	0	0	
・並ぶときなど、子どもの自発的行動を待たず、腕を掴んで引っ張る。	43	4	0	42	5	0	43	4	0	
・いつも時間ぎりぎりのお迎えになる子どもに対して、「○○ちゃんのお母さん、今日も遅いね」と言う。	46	1	0	45	2	0	47	0	0	
・登園が遅い、服が汚れている、お風呂に入っていない、提出物の遅れ等の際、子どもに「また○○くんのお母さん忘れたの。いつも忘れて困るね。」や「昨日のお風呂に入れてもらわなかったの。」など否定的な言葉がけをする。	47	0	0	47	0	0	47	0	0	
・いつもぎりぎりの時間にお迎えに来る保護者に「いつもぎりぎりですね。」と言ったり、保護者が提出物を忘れた際に「いつも忘れて困ります」と言ったりする。	47	0	0	47	0	0	46	1	0	
・いつも同じ子どもにだけ、声をかけたり、そばについていたりする。	47	0	0	46	1	0	46	1	0	
・「女の子らしく」「男の子なんだから」等と決めつけた言葉がけをしたり、注意したりする。	46	1	0	44	3	0	43	4	0	
・小食の子に対して、子どもの意見を聞かず、初めから非常に量を少なくして配膳する。	42	5	0	41	6	0	42	5	0	